

平成28年度 魚沼市 音楽部 活動報告

担当 宇賀地小学校 矢島 昭彦

1 研修の主要課題

音楽指導法 指揮法についての研修を深める

2 研修の概要

- (1) 第1回小学校音楽部会 (期日：4月20日(水) 会場：堀之内中学校)
今年度の活動計画、研修の主要課題について検討
- (2) 第2回小学校音楽部会 (期日：8月5日(金) 会場：小出小学校)
「指揮法・音楽指導法研修」 講師：宇賀地小学校 矢島 昭彦

3 研修の実際

(1) 課題の設定

最初の会で、今一番学びたいことについて話し合いを行った。「音楽会や式典の時の具体的な指揮の仕方について知りたい。」「学級や全校合唱の指導方法について研修したい」等の声があった。そこで、次回の部会で指揮法、合唱指導法について研修することとした。

(2) 実際の研修内容

ア 指揮法の基礎基本

i) 数取りについて

出だしの2拍前は手首だけ、1拍前は腕全体でやることで無駄な情報をプレイヤーや観客に与えない。

ii) アインザッツについて

出だしの1拍前でアーティキュレーション、速度、強弱を表す

iii) 図形について

しゃくい・・・レガート たたき・・・リズムカルに へいきん・・・君が代等

イ 授業や全校合唱での指導

i) 選曲について

その曲の持つ教材性に注目する。例えば、ビリーヴであればフレージングについて主に指導する等

ii) 隠れた指導性

学習する曲について、魅力的に範唱し、歌いやすく伴奏し、正しく指示や指揮をする。けっして上手でなくともポイントを押さえて子どもに示す。その際には教師自らが生き生きと表現している姿を見せることが肝要である。このことで自然と子どもに音楽性が育つ。

iii) 音楽室の環境整備

使いやすく、音楽しやすく、楽しい雰囲気を醸し出す音楽室にする。音楽室を見るだけで、そこで行われている音楽活動が思い浮かぶ。



4 成果と課題

4・5・6年生の教科書掲載曲を、講師の指揮に合わせて歌い、体験することで子どもへの指揮や指導の仕方を研修した。曲の出だしを意識させるための2拍前の手首の使い方や1拍前でテンポを示すなどの具体的な方法を学んだ。また、指揮によって歌い方が変わってくることを実際に体験し、自分たちが楽しむことの大切さも改めて実感することができた。今後は、今回の研修で学んだことをもとに、各校で実践していきたい。